

J1017 U.S. PRO
10/053658
01/24/02



Requested Patent: JP61221112A
Title: EPILATOR COMPOSITION ;
Abstracted Patent: JP61221112 ;
Publication Date: 1986-10-01 ;
Inventor(s): YAMAMOTO KATSUHIRO; others: 02 ;
Applicant(s): NITTO ELECTRIC IND CO LTD ;
Application Number: JP19850064415 19850327 ;
Priority Number(s): ;
IPC Classification: A61K7/155 ;
Equivalents:

ABSTRACT:

PURPOSE: An epilator composition that contains a water-soluble high polymer selected from polyacrylic acid, polyvinyl pyrrolidone and gelatin and an epilation agent as essential ingredients, thus forming good coating films after application, to remove hairs without irritation to skins.

CONSTITUTION: An epilator composition in the form of water-soluble gel or paste, having a viscosity of 20-1,000 poise at 30 deg.C, is obtained by using 2-50wt% of a water-soluble high polymer selected from polyacrylic acid and its salt, polyacrylamide, polyvinyl pyrrolidone, and gelatin and 1-12wt% of an epilator such as thioglycolic acid and its salt or barium sulfide, in addition, water, an alkali agent, hair-swelling promotor, filler and flavor's. The resultant composition shows good permeation into hairs and adhesion to hairs and forms solidified coating films by removing water from the spread film 3-20min after application, then, the films are peeled off to effect epilation.

⑪ 公開特許公報 (A) 昭61-221112

⑤Int.Cl.⁴

A 61 K 7/155

識別記号

庁内整理番号

7417-4C

⑪公開 昭和61年(1986)10月1日

審査請求 未請求 発明の数 1 (全2頁)

⑫発明の名称 脱毛用組成物

⑬特 願 昭60-64415

⑭出 願 昭60(1985)3月27日

⑮発明者 山本 克弘 茨木市下穂積1丁目1番2号 日東電気工業株式会社内

⑯発明者 佐々木 利光 茨木市下穂積1丁目1番2号 日東電気工業株式会社内

⑰発明者 志田 正行 茨木市下穂積1丁目1番2号 日東電気工業株式会社内

⑱出願人 日東電気工業株式会社 茨木市下穂積1丁目1番2号

明細書

1. 発明の名称

脱毛用組成物

2. 特許請求の範囲

(1) ポリアクリル酸及びその塩、ポリアクリルアミド、ポリビニルビロリドン、ゼラチンの群から選ばれた少なくとも一種の水溶性高分子と脱毛薬剤とを必須成分とする脱毛用組成物。

3. 発明の詳細な説明

(産業上の利用分野)

本発明は新規な脱毛用組成物に関するものであって、更に詳しくは脱毛部位に塗布後良好な皮膜形成性を有し、しかも皮膚刺激を与えることなく脱毛できる脱毛用組成物を提供するものである。

(従来技術とその問題点)

従来、脱毛用組成物としてはチオグリコール酸を主剤とし、これに水酸化ナトリウム、水酸化カリウム、水酸化カルシウム、水酸化ストロンチウムなどのアルカリ剤を組み合わせて、クリーム、ペースト、ゲル状などにしたものが知られており、

このものは目的とする脱毛部位に塗布して所定時間放置後拭き取ることによって脱毛処理を行うものであった。

しかし、このような脱毛処理は拭き取り作業を必要とするので煩雑なうえに、拭き取り時に皮膚刺激を起生するという問題があった。

(問題点を解決するための手段)

本発明はかかる従来技術の問題点を解決した新規な脱毛用組成物に関するものであって、その要旨とするところは、ポリアクリル酸及びその塩、ポリアクリルアミド、ポリビニルビロリドン、ゼラチンの群から選ばれた少なくとも一種の水溶性高分子と脱毛薬剤とを必須成分とすることである。

本発明によれば、生成組成物を構成する前記水溶性高分子の極性基と毛表層を構成するケラチン繊維との親和性が良好であるので、脱毛薬剤への浸透が促進されると共に毛との接着性が良く、しかも前記高分子は良好な皮膜形成性を有するので、これを脱毛部位に塗布して固化させた後剥離することによって、皮膚に刺激を与えることなく、美

尾に脱毛できるという特徴を有するものである。本発明の脱毛用組成物は、ポリアクリル酸及びその塩、ポリアクリルアミド、ポリビニルビロリドン、ゼラチンの群から選ばれた少なくとも一種1～70重量%、好ましくは2～50重量%と、チオグリコール酸及びその塩、硫化バリウムなどの脱毛薬剤1～15重量%、好ましくは1～12重量%とを必須成分として含み、これに水、アルカリ剤、体毛膨潤促進剤、充填剤、香料などの添加剤を配合して、約20～1000ポイズ(±30℃)の粘度を有する水溶性、ゲル或いはペースト状などに調整されるものである。

このように調整された脱毛用組成物は、目的とする脱毛部位に、約100～1000g/m² (固体分)の範囲で塗布され、通常3～20分間風乾或いは補助手段を用いて水分を除去することにより固化させて皮膜化し、剝離除去することにより脱毛するものである。

(発明の効果)

本発明の脱毛用組成物は、前記の如く脱毛薬剤

の毛への浸透を促進と共に毛との接着性が良好で、しかも良好な皮膜強度を形成する特定の水溶性高分子を用いたので、良好な脱毛効果を有し、しかも皮膚刺激が少ないという特徴を有する。

(実施例)

以下本発明の実施例を示す。文中%とあるのは重量%を意味する。

実施例1

| | |
|---------------|-----|
| ポリアクリル酸ナトリウム | 15% |
| チオグリコール酸ナトリウム | 7% |
| 精製水 | 78% |

実施例2

| | |
|---------------|-----|
| ポリアクリルアミド | 10% |
| チオグリコール酸ナトリウム | 7% |
| 二酸化ケイ素 | 3% |
| 精製水 | 80% |

実施例3

| | |
|---------------|-----|
| ポリビニルビロリドン | 20% |
| チオグリコール酸カルシウム | 7% |
| 精製水 | 73% |

実施例4

| | |
|----------|-----|
| ゼラチン | 5% |
| 水酸化カルシウム | 7% |
| 精製水 | 85% |

実施例5

| | |
|---------------|-----|
| ポリビニルビロリドン | 10% |
| ポリアクリル酸ナトリウム | 10% |
| チオグリコール酸ナトリウム | 8% |
| 精製水 | 72% |

上記実施例1～5で得られた脱毛用組成物をバネラー(成人女子)の脱毛部位に、固化後の膜厚が約500μmとなるように塗布して、約5～13分間放置して皮膜化させ(皮膜の含水量3～15重量%)、一端から剝離したところ毛根が殆ど目視では判別できない程度に脱毛され、しかも剝離時痛みもなく、皮膚刺激もみられないものであった。

特許出願人

日東電気工業株式会社

代表者 土方 三郎